

安心して乗れる鉄道にするには課題がいくつも 在来線と地域のあり方を考える直江津・頸城の会が総会

在来線と地域のあり方を考える直江津・頸城の会の総会が5月25日、直江津学びの交流館で行われました。総会には日本共産党議員団の橋本、橋爪両市議も参加しました。

総会では、石田秀男副代表の開会挨拶、仲田紀夫代表の主催者挨拶に続き、上越市の池田企画政策部長などが来賓として挨拶しました。

その後、田村事務局長から昨年度の



活動報告や今年度の活動方針などが示され、採決されました。

報告の中では、「今年3月のダイヤ改正で新幹線からトキ鉄への乗り継ぎ時間が大幅に短縮され、利便性が向上した一方、トキ鉄ダイヤ総本数の減便で利便性が悪化した側面もある。各社間での相互乗り入れがさらに減便される傾向が続いていて、乗り換えの不便さが指摘されている」こと、「鉄道各

社の利用者を増やし安定経営をめざすという一点に問題を絞るなら、新幹線利用客の利便性だけでなく、沿線住民の声に誠実に耳を傾け、地方自治体、その他各界と協力して地域で活動する利用者にとつての真の利便性向上方を追求していく姿勢が重要である」ことなどが明らかにされました。

報告の中ではまた、上越市議会議長・副議長への要請と懇談が実現したことも明らかにされました。

このなかで会は、①JR東による上越地域から新潟方面へのアクセス

が極めて悪いこと、②「しらゆきW切符」は、「えちご往復きっぷ」に比べ内容が改善されるとともに大幅値上げされたこと、③「えちごワンデーパス」の利用可能範囲は下越、中越のみで、上越地域はこの利用範囲に含まれていない。上越地域も含めるべきであることなどを指摘して要請しました。武藤議長は、「皆さんのご要望を真摯に受け止めたい」と述べたということです。

日本共産党議員団では、これまでも定例会での一般質問や委員会審査などで新幹線とトキ鉄との乗り継ぎ時間の短縮、信越線の強風対策の強化、北越急行の電車のトイレ設置などをとりあげてきました。

最近、高齢者の運転する自動車事故が多くなっている中で、鉄道を暮らしの中にどう活かしていくかが改めて問われています。日本共産党議員団は、今回の直江津・頸城の会でも出された報告や意見などを参考にしながら、市民の皆さんに役立つ公共交通機関の実現のために努力していきます。

6月定例議会日程 (会議開始時間はいずれも午前10時)

月日	会議名	会議室名	備考
6月5日(水)	本会議	議場	提案説明
6月6日(木)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
6月7日(金)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
6月10日(月)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
6月11日(火)	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
6月12日(水)	本会議	議場	一般質問
6月13日(木)	本会議	議場	一般質問
6月14日(金)	本会議	議場	一般質問
6月17日(月)	本会議	議場	一般質問
6月19日(水)	本会議	議場	付託案件採決

定数・報酬などでの意見交換会 5会場

市議会の定数・報酬等の在り方検討委員会は、このほどレインボーセンターなど市内5会場、市民のみなさんとの意見交換会を開催しました。

5月24日のレインボーセンター会場(写真)や大島会場では、「議員の報酬は民間から比べて高いというイメージがある。議員の動きが見えない。



議員自身はどう思うか聞かせてほしい」「報酬は低い方だと思う。県議と新潟市議くらいは食っていける。報酬は上げたほうがよいと思う」「合併して端っこの方はいろいろと不便を感じる。議員の中にも小選挙区でなどの意見があれば検討してほしい」「市議会議員になりたかった。お金もかかるので大変。家族や周りから反対されて議員になれなかった」などの意見が出されました。

続報します。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.628 2019年6月2日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)